

令和元年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 リ ア ル ワ ー ル ド
住 所 東 京 都 渋 谷 区 元 代 々 木 町 30 番 13 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 菊 池 誠 晃
(コード番号：3691 東証マザーズ)

問 い 合 せ 先 取 締 役 中 村 大 介

TEL. 03-5465-0690

特別損失等の計上、繰延税金資産の取崩し及び 通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、令和元年 9 月期通期において、特別損失を計上する見込みとなったこと、また、業績の動向を踏まえ、平成 30 年 11 月 14 日に公表した令和元年 9 月期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失について（連結）

令和元年 8 月 30 日付「子会社株式の譲渡及び特別損失の発生に関するお知らせ」にてお知らせしておりました、ノーザンライツ株式会社の株式譲渡に伴う、関係会社株式評価損につきましては、連結決算において、47 百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 繰延税金資産の取崩しについて（連結）

当社及び連結子会社における繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、令和元年 9 月期において繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額を 137 百万円計上いたしました。

3. 令和元年 9 月期業績予想と実績値との差異（平成 30 年 10 月 1 日から令和元年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	法人税等 調整額	親会社に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,000	△300	△310	—	100	29.15
実績値 (B)	2,473	△374	△377	137	△25	△7.40
増減額 (B-A)	△527	△74	△67	—	△125	
増減率 (%)	△18%	△25%	△22%	—	△125%	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 9 月期)	4,321	△272	△273	△73	△300	△95.41

4. 差異が生じた理由

売上高につきまして、クラウドソーシング事業において、ノーザンライツ株式会社を売却したことに伴い、みなし売却日を令和元年7月1日としたこと、及びクラウドメディア事業において、戦略的な転換により売上高よりも利益額を追求したことにより前回発表予想と差異が生じています。また、営業利益および経常利益につきましては、新規事業の投資を積極的に行ったこと、及び、売却済みの子会社において当社連結期間中の利益率が鈍化したため前回発表予想と差異が生じています。また、親会社に帰属する当期純利益につきましては、令和元年10月1日付け「特別損失（有価証券売却損）の発生に関するお知らせ」で公表したとおり投資有価証券売却損が発生していること、及び上記「2. 繰延税金資産の取崩しについて（連結）」のとおり繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額を137百万円計上したことから、前回発表予想と差異が生じています。

5. 営業外費用の計上（個別）

当社連結子会社でフィンテック事業を行っている株式会社 REAL FINTECH に対する貸付について回収可能性を慎重に検討した結果、貸倒引当金繰入額50百万円を営業外費用に計上いたしました。なお、当該営業外費用については、個別財務諸表のみで計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

6. 特別損失の発生（個別）

当社連結子会社でクラウドメディア事業を行っている株式会社リアル X の株式について回収可能性を慎重に検討した結果、関係会社株式評価損99百万円を特別損失に計上いたしました。なお、当該特別損失については、個別財務諸表のみで計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

7. 繰延税金資産の取崩しについて（個別）

当社における繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、令和元年9月期において繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額を112百万円計上いたしました。

以 上